

熊本城で新しいサクラ発見！

～名前投票にご参加ください～

熊本城内で、既存の栽培品種※¹に当てはめることのできないサクラが見つかりました。
このサクラに名前を付けて、新たな栽培品種として公表することを目指しています。
熊本城でしか見られないこの貴重なサクラを皆で守り育てていくため、市民投票で栽培品種の名前を決定します。

1. 経緯

- 城内のサクラ品種調査において、花や葉などの形態的特徴から既存の栽培品種と同定できないサクラの個体を発見した。
- 専門家（森林総合研究所 勝木俊雄農学博士※²）による実地確認を行った結果、「新たな栽培品種として成立し得る特徴を有している」との評価をいただいた。

2. 生育位置・写真



3. 主な特徴

最も特徴的な点は、花弁の色が白から紅に変化することで、紅白の花が混在して咲いているように見えることです。

4. 新たな栽培品種としての命名と公表

このサクラの価値を高めるため、「新たな栽培品種」として命名・公表することを目指しています。

花や葉などの形態的特徴やその評価を論文にまとめ、植物専門の学術誌※³に投稿し、査読を経て掲載されることで、「新たな栽培品種」としての客観性・信頼性を担保したうえで広く周知できると考えており、勝木氏及び熊本県樹木医会と連携して準備を進めているところです。

スケジュール（予定）

令和8年3月末	原木から花や葉の標本を採取
令和8年4月～12月頃	論文執筆
令和9年1月～3月頃	投稿・査読
令和9年4月頃～	掲載

5. 名前投票

命名にあたっては、この貴重なサクラを皆で守り育てていきたいという思いから、皆さまの投票で決定したいと考えています。

名前	読み	由来
二様	によう	二色の花卉が混在する様子と、熊本城の見どころのひとつである「二様の石垣」を重ねて表した。
八十姫	やそひめ	加藤清正公の娘で熊本生まれ熊本育ちの八十姫にちなむ。「八十」の由来のように、「苦（九）がなく」熊本城の復興が進むように。
援結	えんむすび	熊本城の復興支援への感謝を表すとともに、今後も市民をはじめ多くの方々と連帯して復興を進めていきたいという思いから。「縁結び」とかけた造語。
むぞか	むぞか	熊本弁で「かわいい・可憐」の意味で、地域性と親しみやすさを表現。皆様にかわいがっていただけるように。
二の丸	にのまる	発見された場所にちなむ。

<投票期間>

令和8年（2026年）3月16日～令和8年（2026年）4月19日

<投票方法>

- Web投票（市公式ホームページ）
- 紙投票（二の丸お休み処横の復興城主受付窓口）

※1 栽培品種

…人間が利用するために選抜・改良し、その特徴が代々変わらないように管理されている植物の種類のこと。サクラの栽培品種として代表的なものに「染井吉野（そめいよしの）」がある。

※2 勝木俊雄農学博士

…国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所長。サクラの分類を中心とした樹木学、植物分類学、森林生態学が専門。30年以上にわたりサクラを研究されており、2018年には新種の野生のサクラ「クマノザクラ」の発見を発表。

※3 学術誌

…株式会社ツムラが発行する『植物研究雑誌』に投稿予定。1916年創刊の植物分類学と生薬学を扱う歴史ある学術誌であり、投稿後は刊行規則と投稿規定に基づく査読を受け掲載が決定される。

【お問い合わせ先】

熊本城総合事務所 復旧整備課
電話：096-328-2858
課長：上村（うえむら）
担当：布田（ふた）

熊本城で新しいサクラ発見！



期間：3/16～4/19

熊本城で新しいサクラ発見！
～名前投票にご参加ください～

①二様 ②八十姫

③援結 ④むぞか ⑤二の丸